

会計室

組織の目的と役割		会計室	
組織の目的(どのような価値を提供するのか)			
市の施策の財源である公金の安全確実かつ有利な管理を行うとともに、会計事務(審査・出納)の適正な執行と効率化に努める。			
価値を提供する上で、解決すべき課題			
財務会計システムを利用して、各担当課で財務会計事務を適正かつ効率的に行えるように、「会計事務マニュアル」を整備する。			
組織が担う施策とその役割			
施策の柱	施策名	役割	役割の内容
その他の事業	会計事務	主体的に	支出命令書及び付属書類の審査を行う。 現金及び有価証券の出納を行い、支出命令書の管理・保管をする。 例月現金出納検査資料の作成を行う。 決算書の調製を行う。 基金などの管理・運用を図る。 一時借入金等の資金管理を行う。 債権者情報や支払情報など個人情報の適正な保護に努める。
		協働して	財務会計システムの適正な運用を図る。 銀行システムを利用した、口座振込の伝送を行う。
		支援的に	予め債権者登録を行い、支払手続きを確実・迅速に行う。 「会計事務マニュアル」を整備し、担当課(会計事務担当者)に会計事務の指導を行う。

組織の資源と活用		会計室		
組織として持っている主な資源				
人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
金融機関	財務会計システム 及びイージーバンクの利用	金融機関の情報 債権者登録の情報	財務会計システム イージーバンク	「会計事務マニュアル」 の整備
市民・地域団体・市民団体・事業者・事業者団体等によるまちづくりの取組みに関する情報				
資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策				
行動指針	課題	解決策		
多様性ある				
顔が見える				
協働する				
挑戦する	・現行の会計事務及び財務会計システムに沿った「会計事務マニュアル」の整備。 ・公金の安全、確実かつ有利な管理を行う。	・「会計事務マニュアル」を整備する。 ・公金の安全、確実かつ有利な管理を行う。		
創造する				
多様性ある				
課の資源を有効に活用するために取り組むこと				
情報の視点(収集、提供)	「会計事務マニュアル」を全庁で共有する。			
学びの視点(育成、機会)	担当課(会計事務担当者)への会計事務の指導、研修会の実施等。			
広域的視点(他との連携)				
場づくり				

施策名		会計事務							
部課等名		会計室							
“かたのサイズ” をめざす像 (主要3つ)		市民も事業者も楽しく汗をかいている。							
現状と課題 (上記を踏まえ)		現行の会計事務及び財務会計システムに沿った「会計事務マニュアル」の整備。							
施策の目的 (提供する価値)		市の施策の財源である公金の安全かつ有利な管理を行うとともに、会計事務(審査・出納)の適正な執行と効率化に努める。							
施策の目標 (3年後の状態)		「会計事務マニュアル」を全庁で共有し、財務会計事務の厳正な処理を行う。							
財源見込み		国の負担 (0 千円)				大阪府の負担(0 千円)			
事業名		事業概要	実施形態	位置付け	H25 評価	アウトプット 指 標	H25 実績	H27 目標	H27 予算額 H26 予算額
1	会計事務	出納、審査、監査、決算事務を円滑に行う	直	法定	A	支出命令書 処理件数	32,714 枚	—	44,928 千円 33,976 千円

